

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
470013	XY1470013	2	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	選択	1年
簿記特論 2	山下 功			情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×
授業目的							
簿記は、企業規模の大小や業種、業態を問わずに、日々の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能です。「日商簿記検定」は日本で最も普及した会計系資格試験です。この授業を履修することによって、原価計算の基本を理解するとともに、日商簿記検定 2 級(工業簿記)に合格可能な知識を修得することを目標とします。							
各回毎の授業内容							
第 1 回				第 9 回			
【授】工業簿記の概要(1) (テキスト pp. [1]~[22], 1 日目 pp. 1~7.)				【授】総合原価計算(3) (テキスト 5 日目 pp. 199~215, 6 日目 pp. 217~225.)			
【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。				【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。			
第 2 回				第 1 0 回			
【授】工業簿記の概要(2) (テキスト 1 日目 pp. 8~31.)				【授】総合原価計算(4) (テキスト 6 日目 pp. 226~248.)			
【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。				【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。			
第 3 回				第 1 1 回			
【授】原価の費目別計算(1) (テキスト 2 日目 pp. 33~50.)				【授】標準原価計算(1) (テキスト 7 日目 pp. 249~277.)			
【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。				【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。			
第 4 回				第 1 2 回			
【授】原価の費目別計算(2) (テキスト 2 日目 pp. 51~72.)				【授】標準原価計算(2) (テキスト 8 日目 pp. 279~304.)			
【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。				【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。			
第 5 回				第 1 3 回			
【授】個別原価計算 (テキスト 3 日目 pp. 73~108.)				【授】財務諸表と本社工場会計 (テキスト 9 日目 pp. 305~328.)			
【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。				【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。			
第 6 回				第 1 4 回			
【授】原価の部門別計算 (テキスト 4 日目 pp. 109~144.)				【授】直接原価計算(1) (テキスト 10 日目 pp. 329~362.)			
【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。				【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。			
第 7 回				第 1 5 回			
【授】総合原価計算(1) (テキスト 5 日目 pp. 145~168.)				【授】直接原価計算(2) (テキスト 10 日目 pp. 363~376.)			
【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。				【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。			
第 8 回				第 1 6 回			
【授】総合原価計算(2) (テキスト 5 日目 pp. 169~198.)				【授】期末定期試験			
【前・後】テキストを事前に読む。テキストのケースと練習問題を復習する。				【前・後】テキストと練習問題を復習し、期末定期試験に備える。			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							80
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
期末定期試験 80%、第 2~15 講の授業中に実施する復習テスト 20%で評価します。							
教科書参考書							
教科書として、以下のものを使用します。第 1 講が始まる前に購入してください。							
練習問題は授業中に配布または映写します。							
・東京リーガルマインド(2009)『20 日で合格るぞ! 日商簿記 2 級 光速マスターテキスト 工業簿記』ISBN: 9784844998884.							
受講に当たっての留意事項							
・この授業では、予習及び復習が充分になされていることを前提としています。							
・日商簿記検定で使用可能な電卓を持参してください。							
・この授業には、2 級(商業簿記)を含みませんので、合格の為には自習も必要です。							
学習到達目標							
原価計算の基本を理解するとともに、日商簿記検定 2 級(工業簿記)に合格可能な知識を修得すること。							
JABEE							

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習